

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	10-1																																				
PDCA	主要事業名	交通安全推進事業	部課名	総務部防災安全課	担当 内線	羽山 287																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 2 単位施策：交通安全 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 1,382 千円 会計 一般会計 歳出科目 02.01.09.02.02 3 か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																					
	事業概要等	事業概要： 半田警察署や交通指導員、地域等と連携した交通安全啓発活動の実施及び交通安全教室の開催等を通して交通安全の推進を図る。																																									
		事業目的： 市民一人ひとりの交通安全意識を高め、事故防止に係る啓発及び対策に努めることで交通事故の減少を図る。																																									
		事業内容： 学童の路上交通指導、交通安全教育指導、高齢者世帯訪問、関係団体と連携した啓発活動、信号機設置等の交通事故防止策に関する警察への要望を行う。																																									
		問題点・課題等： 重傷事故件数が微増傾向にあり課題である。また、重大事故における高齢者の割合が高いため、高齢者に対する啓発に注力する必要がある。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	1,382 千円	交通事故は市民の生命に関わる問題であり、交通事故減少のため市民一人ひとりの交通安全意識の向上は不可欠であるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費 1,382 千円	市民の交通安全意識の高まりが図られ、交通事故の減少に繋がる。																																									
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態																																									
県費 0 千円	<table><thead><tr><th></th><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">人身事故件数</td><td>実績値</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>—</td><td>—</td><td>403</td><td>件</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">その他</td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	人身事故件数	実績値	—	—	—	件	目標値	—	—	403	件		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																						
人身事故件数	実績値	—	—	—	件																																						
	目標値	—	—	403	件																																						
	実績値																																										
	目標値																																										
その他	実績値																																										
	目標値																																										
その他 0 千円																																											
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）																																					
	1,060 千円	交通安全教室及び啓発活動による市民の交通安全意識の向上や交通危険箇所解消の取り組みから人身事故の発生抑制に繋がった。																																									
		成果指標																																									
		<table><thead><tr><th></th><th></th><th>令和3年度</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">人身事故件数</td><td>実績値</td><td>445</td><td>件</td></tr><tr><td>目標値</td><td>403</td><td>件</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>							令和3年度	単位	人身事故件数	実績値	445	件	目標値	403	件																										
		令和3年度	単位																																								
人身事故件数	実績値	445	件																																								
	目標値	403	件																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 交通安全教室を実施し子どもの交通安全に関する知識を深めた。コロナ禍のため、高齢者には、来庁時に啓発品を配布するほか、要請に基づく講話、資料のポスティング等、感染防止に配慮した手段で交通安全意識の向上を図った。また、マイレポはんだ等で危険箇所を把握し、警察や道路管理者と連携して交通安全環境の向上を図った。しかし、本市の人身事故件数は目標値の令和2年人身事故件数を下回ることではできなかったため、関係団体と連携した啓発活動を推進することで交通安全意識を一層高めるとともに、交通危険箇所の解消を継続的に進める必要がある。																																									
	A 今後の課題の解決に向けた方向性	改善推進 引き続き子どもや高齢者に重点を置いた啓発活動を展開する。また、その他の世代に対しても広報媒体を活用した幅広い啓発を行うことで市民全体の交通安全意識向上を図る。また、ビッグデータの活用や道路管理者との連携から交通危険箇所を解消し交通安全環境の向上を図ることで人身事故の減少に繋げる。																																									
A 今後の課題の解決に向けた方向性	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない																																				
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	※対象・手段の変更																																				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		ない																																				